

令和3年度 下野市行政評価市民評価 ヒアリング資料

事務事業  
番号

事務事業名	東の飛鳥プロジェクト整備事業		所管部課	教育委員会	文化財課
事業目的	本市は、東国における飛鳥時代の変遷を示す遺跡が集中するという歴史的特性を有している。このことから本市では「東の飛鳥」ブランドを活用した文化財の活用を進めている。この「東の飛鳥」プロジェクトの推進の一環として、「下野市歴史的風致維持向上計画」に位置付けられている「下野薬師寺いにしへの道整備事業」の実施と合わせ、各種事業を進めることにより、文化財の市内外へのPRを行い、文化財を活用した観光振興に努める。				
事業概要	「下野薬師寺いにしへの道整備事業」として御鷲山古墳(未指定)の整備、トイレや四阿の設置、下野薬師寺歴史館の駐車場整備等を実施する。事業の実施に当たっては街なみ環境整備事業を活用する。				
総合計画での位置付け	2	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり	重点事業区分	類型区分	I
	4	文化芸術と文化遺産による豊かな総合生活環境づくり	—	—	—
事業区分	新規・継続	新規	事業の種類	ハード事業	市裁量の有無
根拠法令等	文化財保護法、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律、下野市歴史的風致維持向上計画				
補助団体	—				
年度別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				整備基本方針策定	整備基本計画策定
事業費	千円	千円	千円	11,000千円	11,000千円
対象年度(令和4)	事業費内訳				
	令和4年 基本方針策定 令和5年 基本計画策定 令和6年 整備実施 令和8年 事業完了				
財源	国県支出金		地方債・その他		一般財源
	5,500千円		千円		5,500千円
その他(過年度実績・特筆すべき点等)	> 過年度実績 > 実施内容の詳細 > 今後の展開 「下野薬師寺いにしへの道整備事業」として、下野薬師寺歴史館～薬師寺八幡宮～龍興寺の周遊のための道路の美装化を行うとともに、見学者用の便益施設として周遊コースの途中にトイレ・四阿の設置、下野薬師寺歴史館の駐車場整備等を実施する。 併せて、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第12条における歴史的風致形成建造物として指定見込である「御鷲山古墳」の景観保護や史跡下野薬師寺跡の南東部の整備事業を実施する。事業の実施に当たっては街なみ環境整備事業を活用する。 令和4年度から基本方針計画の策定を行う。 > 他事業との連携 「下野薬師寺いにしへの道整備事業」 > その他				

事業推進方針判断に際しての3つの視点					
必要性	A	○	全て	要件(3項目)	
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案が無い、もしくは最適な方法である。 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある。	
	C		なし	市裁量がない事業(⇒A評価とする)	
少子高齢化や都市化の進展により、長い年月の中で培われてきた本市特有の生活文化や景観が失われつつあることから、これらの保護・継承を目的として、文化財保護のマスタープランである下野市文化財保存活用地域計画及び歴史的景観維持のマスタープランである下野市歴史的風致維持向上計画を策定し、国の認定を受けている。「下野薬師寺いにしへの道整備事業」は、これらの計画に位置付けた事業であり、日光街道の脇街道である東往還によって培われた薬師寺地区の歴史・文化の保存・活用を目的とする。実施に当たっては地元コミュニティの協力をいただきながら推進する。					
有効性	A	○	全て	要件(3項目)	
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与。 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する。	
	C		なし	市裁量がない事業(⇒A評価とする)	
「下野薬師寺いにしへの道整備事業」実施にあたっては、市民や観光客が薬師寺地区の歴史・文化を体感できる憩いの場として、周遊に安全な道路幅の確保や歴史情緒を体感できる道路の美装化を実施する。周遊の起点となる下野薬師寺歴史館の駐車場整備によって利用者の利便性の向上を図るとともに、来館者の周遊ルート利用の促進と利用者数の把握に努める。 本事業の実施によってSDGs11-4世界の文化遺産や自然の保護に寄与できる。					
効率性	A	○	3以上	ソフト事業(要件:6項目)	ハード事業(要件:3項目)
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正。 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携。 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である。 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用。	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる。 <input checked="" type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である。 <input checked="" type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている。
	C		なし	管理業務等で、さらなる効率化は困難。	
事業の実施に当たっては街なみ環境整備事業(補助率1/2)を活用する。基本計画の策定段階で、適正な活用率を見込めるような事業規模及び維持費等について十分検討を行う。					

総合評価

○	継続実施
	見直し実施
	廃止